

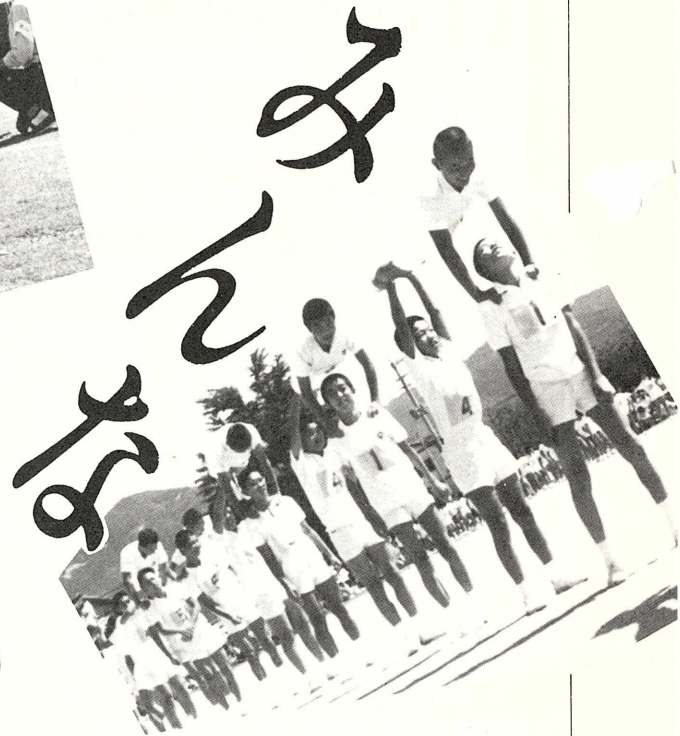
広報あかいけ 10

■発行 赤池町役場〒822-11福岡県田川郡赤池町大字赤池1146番地の1 ☎0947(28)2004 ■編集 総務課文書広報係

★町の人口★人口10,175(-13) 男4,815(-6) 女5,360(-7) 世帯合計3,415(-1) 62年8月末日現在()内は前月との比較です



【四園合同運動会】



【赤池中学校体育祭】



舞



古い広報「あかいけ」を探しています。
昭和30年、40年、50年代の
どんなものでも結構です。
是非一報下さい。

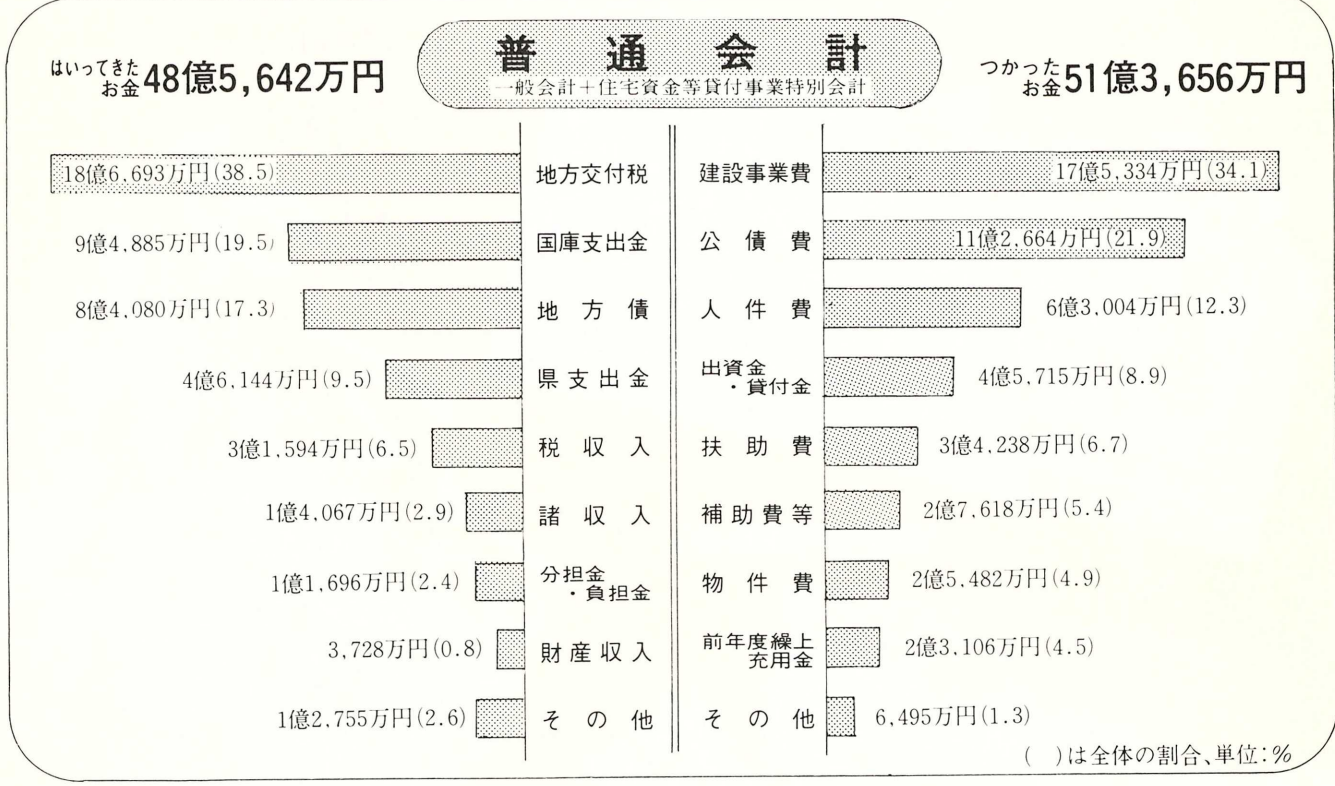
昭和61年度
決算状況

単年度(61年度)収支は黒字 (5,466万円)

なんですが、なにしろ ツケ(借金)の支払いが多くて…

普通会計赤字額: **2億9,281万円**
(繰越額含む)

※普通会計の表については決算統計から掲載しました。



昭和61年度各特別会計の決算状況

区分	歳入	歳出	差引額	累積額
町立病院事業	675,099	647,148	27,951	△423,023
国民健康保険事業	474,990	482,172	△7,182	
上水道事業	202,827	192,206	10,621	△350,309
住宅新築資金等貸付事業	471,189	528,590	△57,401	
老人保健事業	680,512	704,569	△24,057	

昭和六十二年第九回九月定例町議会が、九月二十八日から十月の二日まで五日間の会期で行われ、昭和六十一年度一般会計決算や町立病院などの特別会計の決算の認定議案、昭和六十二年一般会計補正予算、赤池町文化財保護条例の制定などの議案が上程され、活



決算

- ◎昭和六十一年度一般会計歳入歳出決算
- ◎昭和六十一年度国民健康保険事業勘定特別会計歳入歳出決算
- ◎昭和六十一年度住宅新築資金貸付事業特別会計歳入歳出決算
- ◎昭和六十一年度老人保健特別会計歳入歳出決算
- ◎昭和六十一年度町立病院事業特別会計歳入歳出決算
- ◎昭和六十一年度上水道事業会計歳入歳出決算

補正予算

- ◎昭和六十二年一般会計補正予算
算上、予算総額が四十二億八千五百三十四万六千円となりました。
- ◎昭和六十二年国民健康保険事業勘定特別会計補正予算
算上、予算総額が四億八千四百八十一万七千円を減額し、予

全国防犯運動旬間 — 11日~20日(警察署)

算総額が五億百三十九万九千円となりました。内容は、特別調整交付金の増収により、六十一年度の歳入不足額が減少したため、前年度繰上充用金を減額補正したものです。

◎住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算
一億三千九百四十五万五千円を追加し、予算総額が四億一千六百八十二万二千円となりました。内容の主なものは、貸付金で一億四千七百五十万円、一時借入金金の利子として六百万円、長期滞納者に対する訴訟費用として三百万円などです。

変更・一部変更

- ◎大字及び字の区域の変更
現在民間による住宅地の造成が行われていますが、この造成地は、大字市場と大字赤池の二つの行政区域にまたがっているため、将来、この地区に住む住民のことや、今後の行政運営面において支障をきたしますので、造成地の一部の行政
- ◎赤池町文化財保護条例の制定
赤池町には興国寺の木像、古文書、東光寺から出土した銅製経筒などの県指定の文化財があります。この条例は、それ以外の町内に存在する文化財で、赤池町にとって重要なものについて保存や活用のため、条例を制定し、町民の文化的向上を目的としたものです。
- ◎赤池町上水道の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定
貴船水源開発による上水道施設拡張計画に伴ない条例を改正しま

条例

- ◎区域の見直しをするものです。
福岡県田川地区消防組合規約・福岡県自治振興組合規約のそれぞれ一部を変更する規約の協議し、ずれも現在の組合事務所的位置を変更するため、議会の議決を求めました。
- ◎昭和三十二年定例事務監査の結果報告
行政事務監査の結果が監査委員より報告されました。
- ◎昭和三十二年定例土地開発公社決算
地方自治法の規定により法人であるため、町議会に報告しました。
- ◎昭和三十二年定例事務監査の結果報告
行政事務監査の結果が監査委員より報告されました。
- ◎国民食料の確保、国土保全および米の市場開放、農産物輸入自由化阻止に関する請願
採択
- ◎町民グラウンド夜間照明設備設置に関する請願
採択
- ◎義務教育国庫負担制度堅持の意見書の提出に関する請願
採択
- ◎「私学助成の強化」についての陳情
採択

報告

請願・陳情

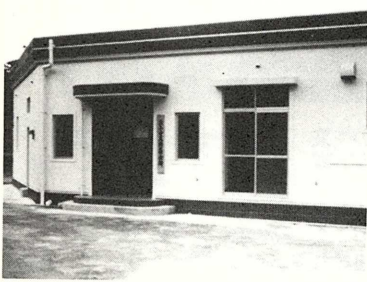
一般質問

問今年三月に出された「地域改善対策啓発推進指針」に対する町の

町民1人当りの使いみち

(一般会計:円)

民生費	71,698
公債費	94,696
労働費	82,633
土木費	51,054
衛生費	30,979
総務費	32,532
教育費	29,341
農林水産業費	15,437
消防費	9,904
議会費	7,062
災害復旧費	8,149
商工費	638
その他	23,729
計	457,852



▶14支所集会所建設事業◀
(2,096万円、うち県費補助金622万円) 起債1,210万円、一般財源264万円

お役に立っています 簡易保険・郵便年金

14支所集会所建設費のうちの、1210万円などは、みなさんが加入している郵便局の簡易保険や郵便年金の積立金の1部が融資され、豊かな町づくりのため活用されています。

町長訓辞

「悲しい事ですが、住宅新築等の貸付のように町行政が町民を相手に訴訟する。このことは、私たち行政職員の努力が足りなかったことも原因の一つです。水道、家賃などの使用料、各種の税金の徴収など今まで以上に足を運び汗を流して努力するように」との訓辞を役場の各課長にしました。

木の日 — 8日(林野庁)



◆計画期間/S61年度～S65年度〇テーマ/「出会いとふれあいと安らぎの場の創造」人口フレーム/10,200人

【3. 社会教育】

住民の生涯学習意欲の向上に因えるため、誰もが気軽に参加できる開かれた社会教育活動を積極的に展開する。特に、指導者の発掘、育成に努めるとともに教育の場づくりを推進する。

住民の生涯学習意欲を高めるため、社会教育活動の多様な展開をはかるとともに場の確保に努める。

【4. 社会体育】

住民の健康の確保と、スポーツに対する欲求にこたえるため、全住民がいつでも気軽に家族ぐるみ、地域ぐるみでスポーツに参加できるよう体育施設の整備および有効活用を推進し、体育指導員の育成をはかる。

住民の健康を守り、明るい活力のあるまちづくりをすすめるためスポーツ活動の場の整備、指導者の確保に努める。

【5. 同和対策】

憲法に保障されるように、人間の基本的権利（生命、自由、幸福の追求の権利）は、誰にも優すことのできない権利であり、またすべての人は法の下に平等であることの認識を絶われない、啓蒙、啓発活動によって全住民に浸透させ、真に平等で安心して暮らせる社会を築いていく。

行政職員をはじめ、住民全員の人權意識の向上をはかり、あらゆる差別の撤廃を目指す。また、同和地区住民の生活安定、地位向上のため職業の安定に努める。

【6. 地域文化】

町民共有の財産である先人が遺してくれた有形、無形の文化遺産の保護に努めるとともに、広く町民に伝承することにより、郷土への誇りと愛着心を育む。
また、町民が秀れた芸術、文化に解れる機会の創出に努め、新しい地域文化を創造していく。

郷土に対する誇りと愛着を育み新たな地域文化の創造のため積極的に文化的環境づくりを推進する。

- 集会施設の整備を進めるとともに、町民会館の機能充実をはかる。
- 学校教育施設の有効活用についての検討を進める。
- 指導者の発掘、養成に努め、社会教育講座の充実をはかる。
- 住民が気軽に自分たちの望む学習を行うことができるよう社会教育講座の連携を強化し、町民学習ネットワークを構築する。
- (仮称)上野総合運動公園の整備を促進する。
- 町民運動会、各種スポーツ大会の充実をはかる。
- スポーツ指導員の発掘、養成をはかるとともに、各種スポーツ団体の育成に努める。
- 子供から老人まで手軽に楽しむことのできるスポーツの普及をはかる。
- 彦山川の河川敷きにサイクリング道路を設置し、直方市のサイクリング道路と結ぶ。
- 各種体力づくりにより、住民の健康管理教育を図る。
- 学校教員、行政職員の同和研修活動を充実し意識向上をはかる。
- 学校教育、社会教育の場等において、あらゆる機会を通じ人權教育の徹底を促進する。特に、地区懇談会を実施し、あらゆる差別の撤廃についての啓蒙、啓発活動の充実をはかる。
- 男女雇用機会均等法についての周知徹底をはかり、職場における性差別を廃止するよう努める。
- 郷土文化の見直し、掘り起こし運動を推進する。
- 町民文化祭の充実をはかる。
- 優れた風景、街並みを創出するため、有志による(仮称)まちなみデザイン会議を設置し本町の風景、まちなみに対する提言活動を行う。
- 広域圏での協力により文化センターの建設を促進する。

豊かな心で21世紀を担う人づくりに向けて

町内

清掃



17支所のお年寄のみなさん



78区のお年寄のみなさん

町内「老人クラブ連合会」社会奉仕の日に各地でお年寄りの方が奉仕しました。

好き
です

町議員 あきかん拾い



清潔な
まち

全国労働衛生週間 — 1日～7日(労働省)

いつまでもお元気で

町内の長寿番付

長生きを

敬老会

老人ホーム天郷荘



- 田中 テルさん(女)M24.5.16 (96歳)〔上野病院〕
- 深見 ヤスさん(女)M25.6.24生(95歳)〔慶寿園〕
- 皆川 ヨ子さん(女)M26.1.4生(95歳)〔常福〕
- 皆川 トモさん(女)M26.1.21生(95歳)〔堀田〕
- 堀 辰野さん(女)M25.8.28生(95歳)〔石松〕
- 山尾 かつさん(女)M26.3.13生(95歳)〔中町団地〕
- 白石カヨさん(女)M26.7.9生(94歳)〔慶寿園〕
- 太田 久松さん(男)M26.4.10生(94歳)〔中里〕
- 安武 菊蔵さん(男)M26.9.10生(94歳)〔薬王寺〕
- 太田アキノさん(女)M26.5.26生(94歳)〔大久保〕
- 三好 ウメさん(女)M27.3.29生(94歳)〔猿畑1〕
- 秋元ミクエさん(女)M26.4.15生(94歳)〔車道2〕

62年9月15日現在94歳以上の方たちです



9月15日の敬老の日、日野町長は、町内の最高齢者、田中テルさんが入院されている、上野病院へ敬老訪問をしました。
「1日も早く元気になって下さい」との町長の激励の言葉に、田中さんは、さかんにならずにいました。

朝、夕、めつきりと涼しさを増した九月十六日「老人ホーム天郷荘」で敬老会が行われました。会場は、お年寄りの手で美しく飾りつけられ、歌に踊り来賓の方たちとの楽しいゲームなど、もりだくさんのプログラムで予定された二時間を三十分以上もオーバーする、心のこもった敬老会で、長寿のお祝いをしました。

赤池町 敬老会

10月15日11時から

場所＝町民会館

※博多玄海さんも来ます

楽しんで下さい



備えてあればうれいはない



赤池町消防団(谷富次団長百三十一人)は、いざというときに、みなさんの生命と財産を守るため日頃から訓練を積み重ねています。三カ月に一度は、一分団から六分団までと、本部分団の全分団が早朝、町民会館に集合し、団長が想定した訓練項目に従い、ため池や河川で放水などの訓練を行っています。
九月六日(日)も、午前六時から、赤池橋下河川敷で放水訓練を行いました。六台の消防車と八十人の団員が参加、約三十分におわり放水を行いました。その他にも、田川地区消防本部と合同で、水防訓練を行ったり、新分団員の教養訓練などを重ねています。

体力づくり強調月間 — 1日～31日(総務庁)